



～ 多様な個性・価値観・ライフスタイルを尊重しあい、
無意識の思い込みやハラスメントに気づき、誰もが健やかに成長や挑戦ができるキャンパスに ～

Beside you 通信 第57号

●お知らせ –2024年ジェンダーギャップ指数–

スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が6月12日に発表した2024年のジェンダーギャップ指数(男女格差)は、世界146か国中日本は118位。教育や健康分野は高い水準を維持していますが、政治や経済分野では低迷が続いています。国や地方議会、管理職など意思決定層に女性が少なく、男女の所得格差が大きい日本の現状は、国際社会に生きる私たちの未来にどんな影響があるでしょう。

さて、毎年6月23日～29日は「男女共同参画週間」です。今年度のキャッチフレーズは『だれもがどれも選べる社会に』。

法の下での男女平等や人権尊重が盛り込まれた日本国憲法制定の背景を描くNHK朝ドラ『虎に翼』が、現代とも重ね話題になっています。あなたの身近なパートナーシップはいかがですか。



この号の内容

- ◆お知らせ
2024年ジェンダーギャップ指数
- ◆活動報告
ダイバーシティセミナー開催
「変わる社会と男性育休の現在地」
- ◆キャンパスメンバー紹介
三木 達行さん
(理事・副学長・事務局長)
- ◆お役立ち情報
大学入門セミに学ぶDE&I
(FD・SD研修) 実施

●活動報告 「変わる社会と男性育休の現在地」-ダイバーシティセミナー開催-



安藤哲也氏 (NPO法人ファザーリングジャパン代表) を講師に、「変わる社会と男性育休の現在地」のテーマで5月20日、対面とオンラインでセミナーを開催しました。

男性育休=男性の家事・育児進出をボウリングの一番ピンに例え、一番ピンをクリアすると、日本社会のさまざまな課題解決につながると強調されました。

育児担当者だけでなく、子育てしやすい、両立して働きやすい職場や家庭づくりが、誰もかの人や社会の豊かさにつながる、とのエッセンスをご紹介します。(HPも見てね!)

🍎 男性育休の重要性

- ◎ママと子ども2人分の命を守る・・・産後母親の死因の1位 自殺：産後うつを乗り越える
- ◎妻との関係性が強まる・・・ともに親として成長、産後の1年で老後の関係性に影響
- ◎仕事(職場)にも好影響・・・仕事に有効な能力が身につく、アイデアが仕事に活きる
- ◎自身の世界が広がり人生が豊かになる

🍎 男性育休からクリアする、社会課題

- ①男性育休⇒ ②若年&熟年離婚の減少 ③DV・児童虐待予防
- ④DE&I(多様性・公平性・包括性)尊重
- ⑤働き方改革・人材採用有利 ⑥介護離職予防
- ⑦ジェンダー平等社会 ⑧少子化対策
- ⑨QOL(生活の質、満足度)向上 ⑩人生100年時代

🍎 持続可能な職場に(誰かお休みしても、おたがいさま)

- ◎多様な働き方を前提に、気兼ねなく発言できる風通しの良さ
- ◎上下関係でなくパートナーシップ



★キャンパスメンバー 三木 達行さん

理事(総務, 財務, 施設・環境担当)、
副学長・事務局長



自宅のある明石から望む明石海峡大橋

の育成・支援のため女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」や次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定」獲得に向けた規則改正や環境整備など事務局次長として様々と取り組んできました。

それ以前は約30年ほど文部科学省・文化庁において予算・施設整備や国会業務を主に担当し、また林 芳正議員(現官房長官)、柴山昌彦議員、萩生田光一議員(元自民・政調会長)の大臣秘書官、都倉俊一文化庁長官の秘書官を務め、広く様々な法律や施策のお手伝いをさせていただきました。

これまでの経験を十分に活かし、鳥取大学におけるダイバーシティを推進し、教職員一人一人がWLBを充実させるべく微力ながら貢献できればと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後に一言

「家庭と自身の健康第一！仕事はその次」

本年4月、理事・副学長・事務局長に着任しました。

主に総務・財務・施設環境を担当いたします。

前職である奈良国立大学機構の奈良教育大学は、ユネスコスクールに認定されており、ダイバーシティ推進宣言により多様性の理解とその上に立つ行動・教育を推進するための取組、国立大学初となる「附属幼保連携型認定こども園」の開園に尽力してまいりました。

また、奈良女子大学では、女性人材



林 芳正 元文部科学大臣と
秘書官(向かって右が三木理事)

インタビュー♪ 中高バスケ部、社会人野球やソフトボール歴も長いスポーツマン。3児の育児期は、激務ながら休日の地域活動や学校行事に積極的に参加。鳥取はのどかで、キャンパや釣りで親しんだ海の見える風景に安心。美酒も発見♪

← 好物の「炎上ホルモン」



★お役立ち情報 -大学入門ゼミに学ぶDE&I (FD・SD研修) 実施します-

【実施期間】令和6年6月23日(日)～7月22日(月)

【実施方法】manabaによるオンデマンド配信

令和6年度全新入生が学んだダイバーシティ講義を共有し、

DE&I (Diversity (多様性)、Equity(公平性)、

Inclusion (包括性) マインドをアップデートしましょう!

Reside you

まずは自分を知る、それから次に進んでみる

- ▼多様性の中に在って、自分はどんな考えを持つような人間なのかを知る。
- ▼次に、自分の一番の理解者である自分が、自分自身の事を尊重できたら、そうした自分に何ができるのか、これからどう在りたいか、見極める。
- ▼そして、もし身近な出来事の中に違和感を感じたら、今居るところから、目の前のことから、行動を起こしてみる。不作為を止め、変化へ向けて動いてみる。

お問合せ・相談は下記までお気軽にお寄せください

〒680-8550

～休憩スペースもあります～

鳥取市湖山町南4丁目101

ダイバーシティキャンパス推進室(地域学部棟4階)

TEL: 0857-31-5769 または内線2166

FAX: 0857-31-5797

Email: diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp

H P: https://www.tottori-u.ac.jp/diversity/

担当理事: 藪田 千登世

室長: 後藤 知伸

推進コーディネーター: 山崎 有紀子



Beside you

Tottori University Office for Campus Diversity

鳥取大学 ダイバーシティキャンパス推進室